

ここが知りたい!

こうしんへいさふぜんしょう

口唇閉鎖不全症（お口ぽかん）って何？

妊娠期・乳幼児期・学童期シリーズ vol. 18

「**口唇閉鎖不全症**」は安静時に口唇が開いている状態を指します。食べる、話すなどの口の機能が十分に発達していない状態である「**口腔機能発達不全症**」のうちの一つとなっています。



テレビを見たり、ゲームをしたり、何かに夢中になっている時、こんなお口になっていないかな？

口唇閉鎖不全症の原因は？

- ・口の周りの筋肉(口輪筋)が弱い
- ・舌を前に出す舌癖(ぜつへき)がある
- ・歯並びが悪い(開咬などの不正咬合)
- ・鼻の病気がある(アレルギー性鼻炎など)
- ・肥満など

口唇閉鎖不全の状態は、自然な改善が期待しにくく、小児期にこの状態が定着してしまうと、その後の口腔機能の発達が停滞することになってしまいます。そのため、可能な限り、早期に口唇閉鎖不全の原因を明らかにし、その原因を改善することでその後の正常な口腔機能の発達へと導くことが重要です。



山形県口腔保健支援センター

(山形県健康福祉部がん対策・健康長寿日本一推進課内) ☎023-630-2337

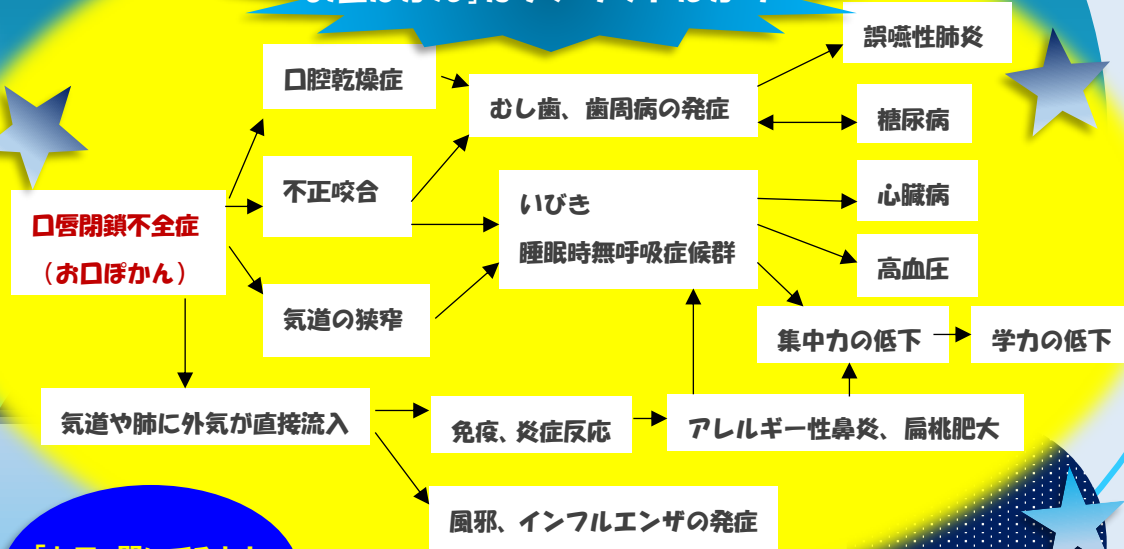


「お口ぽかん」が増えてるぞ～!

全国の小児を対象とした大規模疫学調査で、30.7%の小児に口唇閉鎖不全症の可能性があるという結果がでました。

2021年 新潟大学調べ

「お口ぽかん」はデメリットばかり!?



「お口、開いてるよ！」などの声かけも重要だよ!

口唇閉鎖不全症の改善には!

口唇閉鎖力の増強と口唇閉鎖の習慣を早期に身に付ける!

- ・器具を使った口輪筋を鍛えるトレーニング
- ・舌や口元の筋肉を鍛えて鼻呼吸を促す「あいうべ体操」などを行う。
- ・舌癖がある場合は、正しい舌の位置を指導する。

※詳しくは歯科医療機関に相談しましょう。

